

# 一 般 質 問 (4ページ~5ページ)

2月26日、3月1・2・3日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

## 会派の略称

(みどり・市民)	みどり・市民ネット
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団
(民主・社民)	民主党・社民クラブ
(公明党)	小金井市議会公明党
(自民党小金井)	自由民主党小金井市議団
(自由民主)	自由民主クラブ
(改革連合)	改革連合
(市民)	こがねい市民会議

### 廃滅水路敷の取扱いについて

問う

**露口哲治 (自民党小金井)**  
平成22年度は水路敷の現況を調査し市内全域の台帳づくりと公有財産台帳整備をし、市が所有する土地や建物の評価算定もする。公図上で位置や面積が明白になり、廃滅水路は隣接地権者へ売払いが可能と考える。(ア)積極的に隣接地権者へ売払いを進めるのか。

課税面の対応は。(イ)廃滅水路については民法上、最高裁判例として時効取得がある。

**都市整備部長** (ア)公共利用が図れない場合は、減価率を

かけて払い下げる。占用料は取らない。(イ)時効取得の成立可能性は認めるが、実情に応じての判断となる。

■仮称・貫井北町センターは公民館・図書館・青少年施設に限らず、にし包括支援センターや市民協働支援センター、北一会館を含む、地域の拠点施設とすることを提案。

### 高架化完成後の東小金井駅周辺の整備を急げ

武井正明 (民主・社民)

立体交差化事業完成後の東小金井駅周辺の整備が急がれる。(ア)東小金井駅仮駅舎の撤去工事はいつから着手するのか。(イ)東町踏切から中町踏切間の側道整備のスケジュールは。(ウ)都道3・4・11号線東町踏切(大丸ビーコック先)の相互通行拡幅工事を急ぐべ

き。

**都市整備部長** (ア)3月より着工し、5月中には完了予定である。(イ)平成22年度用地買収し、平成24年度完成を予定している。(ウ)東京都は道路拡幅用地買収に踏み切り、西側部分は鋭意努力していると聞いている。

■その他に、非常勤嘱託職員の労働条件の向上に努力を求め、貫井北町地域センターの建設に当たって、にし包括支援センター、デイサービス施設等の入所を質問しました。

指摘の内容も含めて工夫する必要がある。

**公民館について**。(ア)安全対策、バリアフリー化は十分か。(イ)「おもいやり駐車場」を公民館に設置できないか。

**生涯学習部長** (ア)順次整備をしている。(イ)研究をしたい。駐車スペースへの表示はできる所は行いたい。

■他に、地域包括支援センターを拠点とした高齢者虐待防止ネットワークの設置、匿名通報ダイヤルの徹底と関係機

関の連携強化を要望しました。

(イ)相談があれば受けているが、

### 市庁舎建設問題で市民フォーラムの実施を

渡辺大三 (みどり・市民)

市役所庁舎建設について。(ア)なたでも参加できる市民フォーラムを開催すべきではないか。(イ)建設場所については、「1万人アンケート」ではなく、今夏の参院選と同日投票で住民投票を実施すべきではないか。(ウ)駅前庁舎は92億円とされてきたが、駐車場を

入れると14億円に達する。なぜ市の方針を決める際に金額を示さなかったのか。

**長期総合計画等担当部長**

(ア)市民検討会の中で開催が固まれば必要な予算措置をして実施する。(イ)選挙と同日投票を行う考えはない。(ウ)平成12年の市の方針では、地区外に200台の公共駐車場を整備するとしたので含めなかった。

■他に「夜桜の魅力を堪能できる小金井へ」と題して質問。「関係機関と調整を含め研究したい」と答弁がありました。

### 水道事務委託解消の1年前倒しについて

板倉真也 (日本共産党)

水道事業の事務委託解消の1年前倒しによって、平成23年4月1日以降、東京都に全ての権限が移るまでの1年間の在り方について。(ア)小金井市の案件は、これまでどおり指定業者に優先発注される仕組みが確保されるのか。(イ)漏水修繕工事はどのような発注

注形態になるのか。

**水道課長** 平成24年3月31日までは、市が責任をもって水道事業を運営する。したがって平成23年度については、東京都水道サービス(TSS)は小金井市の入札資格要件等に基づいて発注することになる。よって、(ア)TSSが工事発注する際、委託者である小金井市は、選定あるいは指名される業者については関わっていない。(イ)平成23年度も引き続き同じ業者となるよう、TSSを指導していきたい。

### 学童保育所の民間委託方針は撤回を

水上洋志 (日本共産党)

学童保育所の民間委託化を新年度に2か所行うという市の方針について問う。市の方針を学童保育運営協議会での検討なしで示すのは、民間委託ありきの結論を押し付けるもので問題である。市の方針を撤回し、学童利用者との真摯な話し合いをすべき。

### 保育所の待機児の計画的解消を

関根優司 (日本共産党)

「保育園の待機児は平成21年度に作成する『のびゆくこどもプラン』の中に反映する」と4年間答弁してきたが、出てきた『プラン』を見ると、「待機児解消の方針策定を実施に向けた検討をする」となっている。これまでの答弁と違うのはおかしい。

**子ども家庭部長** 毎年一定の方針を出していく。

**保育所の最低基準を引き下げる動きがあるが、小金井はこれまで通りの基準でやるべきだ。小泉内閣の規制緩和で認可保育園の子ども死亡率は7倍になった。**

**子ども家庭部長** 都からの通知はまだ来ていない。これについては慎重に対応していきたい。

■その他に、生活保護の広報、職員体制、貧困ビジネス、多重債務の問題を質問した。

### 日本のアール・ブリュットで展覧会

宮下 誠 (公明党)

アール・ブリュットとは、「生の芸術」という意味。アウトサイダーアートとも呼ばれている。(ア)日本の障害者が作ったこれらの作品が、海を渡り、今年3月からフランスのパリで展覧会が開催される。市報やホームページで、この展覧会を周知しないか。(イ)都

や関係美術館と連携し、市内でアール・ブリュットの展覧会を開かないか。

**市民部長** (ア)この展覧会の公式サイトについて、市のホームページから、リンクが可能になるよう担当部署と調整する。市報への掲載についても、一定、調整したい。(イ)現時点では今後の研究課題。十分研究させていただきたい。

■その他、ラベンダーの使用を提案するなど、緑化保全や緑化推進を訴えた。

### 町中でアートを！子どもの貧困をなくそう

片山 薫 (みどり・市民)

小金井アートフル・アクションは芸術関係者から注目を集めている。はげの森美術館を拠点に、市民参加の芸術活動を町の活性化を。市民部長 芸術文化の担い手は市民で、行政は条件整備。3年間は実施主体の立ち上げ準備。はげの森美術館の在り

方は、運営協議会の意見を尊重して検討。

**授業料が払えず高校を卒業できない子のために、市のHPで資金支援の情報を流せないか。**(イ)教育委員会と福祉担当が連携して、子どもを支援するべきでは。

**福祉保健部長** (ア)社会福祉協議会と協議する。

**学校教育部長** (イ)検討する。子どもの権利に関する条例のリーフレットの活用は。

**学校教育部長** 道徳・特別活動で活用。人権教育を充実。

### 父子家庭の経済支援について格差是正を

小林正樹 (公明党)

昨今の経済状況の中で、父子家庭について、市独自の格差是正の政策を行えないか。(ア)国が児童扶養手当の支給を開始するまでの間、市で支給できないか。(イ)父子相談、父子家族相談ができないか。

**子ども家庭部長** (ア)難しい。

(イ)相談があれば受けているが、